

レジオネラ症(2007～2011)

レジオネラ症は、レジオネラ属菌(*Legionella* spp.)が原因で起こる感染症で、その病型には肺炎型のレジオネラ肺炎と感冒様のポンティアック熱があります。「感染症法」では、4 類感染症に分類され、診断した医師に全数届出が義務付けられています。

レジオネラ属菌は淡水や土壌中の自然環境に広く生息している他、空調施設の冷却塔水、循環式浴槽水、給湯器の水などの人工環境中ではアメーバを宿主として増殖することが知られています。現在、50 菌種以上が同定されており、起因菌として報告される多くは *L.pneumophila* です。

レジオネラ症患者の発生は、2007年～2011年の過去5年間に全国で3832例(668例～892例)、埼玉県では182例(31例～51例)の届出がありました。当所において実施した感染症発生動向調査の病原体検査依頼数は22検体で、届出数の約1割と極めて少なくなっています。(表1、表2)

表1 レジオネラ症患者発生届出数と病原体検査数(2007～2011)

年	2007	2008	2009	2010	2011
届出数(全国)	668	892	717	751	804
届出数(埼玉県)	31	51	31	31	38
病原体検査数(埼玉県)	4	9	3	3	3

表2 感染症発生動向調査によるレジオネラ属菌検査依頼一覧(2007～2011)

年	性別	年齢階級	推定感染源	病型	培養検査結果
2007	M	60～69	不明	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2007	F	80歳以上	浴槽水	肺炎型	陰性
2007	M	70～79	浴槽水	肺炎型	陰性
2007	F	80歳以上	浴槽水	ポンティアック型	陰性
2008	F	60～69	不明	肺炎型	陰性
2008	M	50～59	浴槽水	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2008	F	70～79	不明	肺炎型	陰性
2008	M	60～69	不明	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2008	F	80歳以上	不明	肺炎型	陰性
2008	M	70～79	塵埃(腐葉土)	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2008	M	70～79	不明	肺炎型	陰性
2008	M	80歳以上	不明	肺炎型	陰性
2008	M	70～79	浴槽水	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2009	M	50～59	浴槽水	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2009	M	30～39	浴槽水	肺炎型	陰性
2009	M	50～59	浴槽水	肺炎型	陰性
2010	M	70～79	不明	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2010	M	60～69	不明	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2010	M	80～89	不明	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群 UT
2011	M	60～69	不明	肺炎型	陰性
2011	M	60～69	浴槽水	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2011	F	80歳以上	浴槽水	肺炎型	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1

病原体の検査は、感染源調査や再発防止対策にとって有用な情報を得られることが多いため、公衆衛生上の観点からも、検体の採取に係る関係機関のご協力をお願いいたします。